

# 教育指導の充実に関するグループ

○活動報告

○顛末

第1回顛末

第2回顛末

第3回顛末

名寄市教育改善プロジェクト委員会



# 令和5年度 教育指導の充実に関する研究グループ 活動報告

## 1 教育指導グループ組織

グループ主任	石坂 剛	風連中央小学校 校長
副主任	大谷 和範	名寄小学校 校長
研究主任	安部 彰浩	智恵文中学校 教頭
研究副主任	西尾 圭一	名寄西小学校 教頭
研究委員	伊部 豊	名寄中学校 教頭
	吉野 法行	風連中学校 教頭
	小林 佑貴	名寄小学校 教諭
	安斉 輝昭	名寄南小学校 教諭
	中村 大地	名寄東小学校 教諭
	高橋 遼	名寄西小学校 教諭
	辻村 和也	中名寄小学校 教諭
	萬城目 久美子	智恵文小学校 教諭
	田代 和孝	風連中央小学校 教諭
	藤井 大地	名寄中学校 教諭
	石川 聖剛	名寄東中学校 教諭
	長谷川 真也	智恵文中学校 教諭
	大島 萌子	風連中学校 教諭

## 2 研究内容

研究項目	分担
1 ICTを効果的に活用する方策 (1)学習eポータルの効果的な活用 (2)タブレット端末の持ち帰り ・1学期先行試行実践校（名寄東小、風連中） ・持ち帰りマニュアル作成	◎安部教頭 吉野教頭 中村教諭 大島教諭
2 ICTを活用した不登校（別室登校）対策 (1)遠隔機材を用いた別室登校の支援 (2)遠隔授業の機材活用支援	◎西尾教頭 伊部教頭

## 3 今年度の活動経過

年	月	日	主な内容	備考
5	5	15	<input type="checkbox"/> 第1回教育改善プロジェクト委員会全体会議 <input checked="" type="checkbox"/> 第1回研究グループ会議	文化センター

		(今年度の研究内容・計画, 役割分担等について確認)		
6	19	□持ち帰り先行試行(風連中)に係る取組 ○家庭のインターネット環境アンケート		
	26	○端末等貸出申請書兼同意書配付→提出		
	30	○試行期間①(6月30日～7月2日)		
	～	・接続設定の確認		
	2	・ロイロノートでの送受信確認		
6	19	□持ち帰り先行試行(名寄東小)に係る取組 ○家庭のインターネット環境アンケート		
	28	○端末等貸出申請書兼同意書配付→提出		
	～	○充電器シール		
	7	○接続方法の文書配付		
7	7	○試行期間①(7月8日～7月9日)対象:3～6年生		
	～	・土日をまたいでの持ち帰り		
	9	・Wi-Fi接続の確認		
		・ロイロノートでの送受信確認		
		・4・5年……日記		
		・6年……まなびポケットで算数の課題		
		○試行期間②(7月14日～7月17日)		
		・4年……日記→ロイロ		
		・5年……算数デジタル教科書の問題に取り組む		
7	21	○試行期間②(風連中)長期休業中の持ち帰り		
	～	・夏休みの課題、学力テスト過去問に取り組む		
	～	・夏休みの課題提出		
8	17	・タイピング練習		
		○試行期間③(名寄東小)長期休業中の持ち帰り		
		・3年……キーボー島		
		・4年……日記2日分		
		・5年……各種カード		
		・6年……各種カード、短歌		
9	28	□第2回研究グループ会議	風連中央小会議室	
		○名寄東小、風連中による先行試行の成果と課題の共有		
		○各校での試行開始(インターネット環境アンケートから)		
11	24	□第3回研究グループ会議	名寄小音楽室	
		○持ち帰り試行の進捗状況	※進捗状況はグループライブで共有	
		○持ち帰りに係る成果と課題		
		○別室登校の児童生徒への遠隔授業の成果と課題		
		○学習eポータルを活用実践の交流		
	24	○各校による持ち帰り試行①～③		
	～			
6	1	23	□名寄市教育研究集会	EN-RAYホール

## 4 今年度の活動内容

### (1) タブレット端末の持ち帰りについて

- 1) 持ち帰りの先行試行(名寄東小、風連中)
  - 家庭のインターネット環境アンケート(調査)

- 端末等貸出申請書兼同意書配付と集約
- 成果と課題の共有
- 2) 各校での持ち帰り試行
  - 家庭のインターネット環境アンケート（調査）
  - 各校の実態に合わせた試行
- 3) 成果と課題の共有

## (2) 学習eポータルの効果的な活用

- 1) 各校での実践の交流
- 2) 効果的な活用に向けた意見交流……A I ドリルの導入に向けて

## (3) ICTを活用した不登校（別室登校）対策

- 1) 別室登校の児童生徒への遠隔授業
- 2) 学級に戻れた事例の共有

# 5 「第3次名寄市教育改善プロジェクト委員会」 ～令和5年度の研究活動における成果と課題～

### 【成果】

- 持ち帰りの先行試行を実施しデータや資料を共有したことで、各校での試行実施のハードルを下げる事ができた。今後も持ち帰りに係る情報の共有を継続していく。
- 各校での学習eポータルの実践例を交流する中で、教育現場でのA I ドリルへの必要感や期待感を明らかにすることができ、導入検討へ動き出すことができた。
- 持ち帰った端末を家庭で接続することを通して、アカウントや基本的な端末の取扱いについて、児童生徒の理解を深めることができた。
- 別室登校の児童生徒へ教室での授業を配信することや、授業後の休み時間にも継続して接続することなどを通して、学級に戻れるようになる事例が出てきた。

### 【課題（次年度に向けて）】

- ▲前年度に続き、インターネット環境調査を実施した結果、インターネット環境が十分に整っていない家庭が全体の3%程度あるため、教育委員会と協力して対応を検討する必要がある。
- ▲端末機器の持ち帰りの目的を明確にすることが必要であるとともに、保護者への丁寧な説明が必要である。
- ▲持ち帰った端末機器の使用時間等に係るルールについて、学校や学年の実態に応じて設定することが必要である。
- ▲今後は、ICTを活用した校務の効率化（校務DX）に焦点を当てた研究を進めていくことが必要である。

# 令和5年度 教育指導の充実に関する研究グループ 第1回顛末

## 1 日時・場所・参加者

- (1) 日 時：令和5年5月15日（月）15：15～16：10  
(2) 場 所：名寄市民文化センター（大会議室）  
(3) 参加者：主 任：石坂 剛 校長（中央小） 副 主 任：大谷 和範 校長（名小）  
研究主任：安部 彰浩 教頭（智中）  
研究委員：伊部 豊 教頭（名中） 吉野 法行 教頭（風中）  
小林 佑貴（名小） 安斉 輝昭（南小） 中村 大地（東小）  
辻村 和也（中名寄小） 萬城目久美子（智小） 田代 和幸（中央小）  
藤井 大地（名中） 大島 萌子（風中） 石川 聖剛（東中）  
長谷川真也（智中）

## 2 活動内容

- (1) 研究内容の確認  
○不登校対策とICTの効果的な活用  
(2) 確認事項・改善の方向性  
○タブレット端末の持ち帰りについて  
・市内小、中学校各1校で持ち帰りを先行実施し、全市実施に向け課題を検証する。  
・風連中が6月から先行実践を開始する。  
・風連中より先行実践に向けた資料の提供と内容の説明（別添資料）。  
・小学校で先行実践できるところは、自校の校長に確認後、研究主任にC4thで連絡。  
・2学期以降、他の小中学校でも持ち帰りを試行し、課題と改善策を共有する。  
○ICTを活用した不登校（別室登校）対策  
・別室登校している児童生徒にICTを活用して所属学級の授業に参加させることで学びを保証するとともに、学級とのつながりを持続させて教室登校を目指す。  
・名寄東中で実践中なので、ノウハウを共有しながら、別室登校児童生徒がいる学校でMDMが中心となって遠隔授業を試みる（児童生徒の実態に応じて）。  
・好事例をまとめ、市内小中学校で共有する。  
○その他  
・グループ会議の開催について、終了時刻が勤務時間を超えないよう、開始時刻を早めることも検討する。  
・Googleドライブ等を使って会議資料を事前に提示し、意見をまとめておくことで会議の効率化を図る（試行結果は顛末で報告する）。

## 3 次回の活動予定

### 【第2回研究グループ会議】

- タブレット端末の持ち帰りについて  
・「校内無線LAN及び1人1台端末等運用ガイドライン」に沿った持ち帰りルールの策定  
・風連中の進捗状況の共有  
○別室登校対策としてのICT活用に係る課題と改善点等について

# 令和5年度 教育指導の充実に関する研究グループ 第2回顛末

## 1 日時・場所・参加者

- (1) 日 時：令和5年9月28日（木）15：00～15：30  
(2) 場 所：名寄市立風連中央小学校（会議室）  
(3) 参加者：主 任：石坂 剛 校長（中央小） 副 主 任：大谷 和範 校長（名小）  
研究主任：安部 彰浩 教頭（智中） 研究副主任：西尾 圭一 教頭（西小）  
研究委員：伊部 豊 教頭（名中）  
小林 佑貴（名小） 安齊 輝昭（南小） 中村 大地（東小）  
辻村 和也（中名寄小） 萬城目久美子（智小） 大島 萌子（風中）  
藤井 大地（名中） 石川 聖剛（東中） 長谷川真也（智中）

## 2 活動内容

- (1) 持ち帰り先行実施に係る報告及び改善に向けた意見交流
- ①先行実施校（東小・風中）から
- 成果
    - ・児童生徒が持ち帰りに慣れてきた。
    - ・児童生徒のChromebook活用スキルが向上した。
    - ・長期休業中の課題にも活用することができた。
  - 課題
    - ・家に忘れたときの対応・充電し忘れへの対応
    - ・Wi-Fi接続されていない家庭の対応
    - ・Chromebookの自宅での活用方法
    - ・持ち帰り時の約束
    - ・健康面への配慮
  - 参考（風中での取組）
    - ・タイピングスキル向上に向けたタイピングコンテストについて
- ②市内持ち帰り実施に向けてのロードマップの共有
- ア) 家庭Wi-Fi環境調査の実施…10月中
  - イ) 各校職員会議での提案と保護者への説明…10月～11月
  - ウ) 持ち帰りの実施…11月～3月
  - エ) 持ち帰り完全実施に向けた課題の検証…（必要に応じオンラインも検討）
- ③家庭Wi-Fi環境調査の準備（先行実施校は除く）
- ・昨年度調査の方法及び文書を活用する。
  - ・研究グループで結果をとりまとめ、市教委に報告する。
- (2) 働き方改革に向けたICT活用の取組について
- ・体の記録カードのデジタル化（市教研養教部会とソフトウェア開発）各校で参考に

## 3 次回の活動予定

### 【第3回研究グループ会議】

- 家庭のインターネット環境調査の結果分析と共有
- 別室登校児童生徒への学習保障としての遠隔授業に係る成果と課題について

# 令和5年度 教育指導の充実に関する研究グループ 第3回顛末

## 1 日時・場所・参加者

- (1) 日 時：令和5年11月24日（金）14：30～15：30  
(2) 場 所：名寄市立名寄小学校（音楽室）  
(3) 参加者：主 任：石坂 剛 校長（中央小） 副 主 任：大谷 和範 校長（名小）  
研究委員：伊部 豊 教頭（名中） 吉野 法行 教頭（風中）  
小林 佑貴（名小） 安齊 輝昭（南小） 中村 大地（東小）  
辻村 和也（中名寄小） 萬城目久美子（智小） 田代 和幸（中央小）  
藤井 大地（名中） 石川 聖剛（東中） 長谷川真也（智中）

## 2 活動内容

- (1) Chromebookの持ち帰り試行実施に係わる各校の進捗状況について
- ①Chromebookの持ち帰りに関わる成果と課題
- ・持ち帰らせて何に使わせるのかを明確にしていく必要がある。
  - ・Wi-Fi環境のない家庭への対応
  - ・通信制限がある家庭への対応
  - ・Chromebookの持ち帰り前の保護者への説明が大事  
→参観日などに併せて実施した方が良い
  - ・持ち帰りの際のカバンの重さへの対応  
→デジタル教科書の活用や、教科書のPDF化による対応  
※教科書のPDF化に関しては、著作権法35条に抵触しないようあくまで授業の延長であることを意識した対応が必要
  - ・持ち帰りの際のルールについて  
→学校毎の状況や校種（小中）、発達段階によって違うので統一化は難しい  
※ベースとなるルールの共有化はできるので、それを参照して各校で状況に応じて変更していく
  - ・スプレッドシートなどに成果の蓄積をしていく  
→成果の蓄積が、多くの学校の取組のヒントになっていく可能性がある
- ②家庭のインターネット環境調査の結果分析と共有  
※別紙参照
- (2) 別室登校児童生徒への学習保障としての遠隔授業に係わる成果と課題について
- ・成果：遠隔授業によって徐々に学級に戻る事例が出てきた。  
→遠隔授業が、学校と別室との間のサードプレイスの機能を果たしたのでは
  - ・課題：遠隔授業の準備の大変さがある
- (3) 学習eポータルを活用実践の交流
- ・eboardなども活用してきているが、AIドリルなどの整備があるとさらに良いかも
- (4) その他
- ・バーコードフォントのインストールを市教委と検討→働き方改革にもつながる